

産業利用の拡大と成果の向上をめざして

SPring-8 は学術研究のみならず、産業の発展に寄与しています。SPring-8の産業利用を加速するため、2000年度にはコーディネーター制度を導入し、2001年には産業利用に特化した共用ビームラインを稼働させ（現在は3本）、2005年度には産業利用推進室を設置しました。

また、トライアル・ユース（2002年度：試行、2003年～05年度：制度化）や先端大型研究施設戦略活用プログラム（2005～06年度）を実施してきました。

今後も新しい有益な利用法は開拓できると私どもは信じています。加えて、既成の測定技術を産業に利用することにとどまらず、学術の最先端と共同して、必要な新しい測定技術を開発しながら産業技術の最先端を切り開く試みを積極的に推し進めています。

産業利用ビームライン

BL19B2(産業利用Ⅰ)

本ビームラインは汎用的な偏向電磁石ビームラインで、薄膜構造解析、粉末X線回折、X線イメージング、小角X線散乱等に利用されています。

（本ビームラインを用いた成果）
12, 14, 16, 18, 26, 38ページ



X線イメージング装置

多軸回折計

BL14B2(産業利用Ⅱ)

本ビームラインは偏向電磁石ビームラインで、主にXAFS測定に利用されています。

（本ビームラインを用いた成果）
20, 22ページ



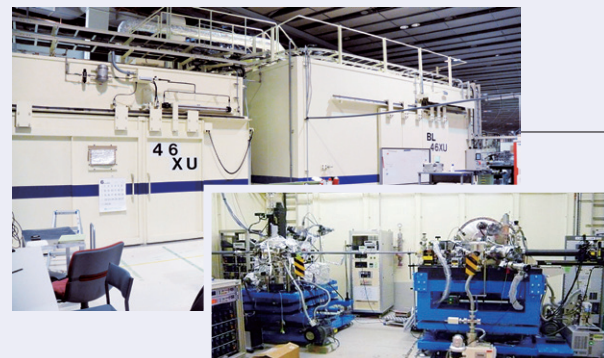
19素子Ge-SSD

Lytle 検出器

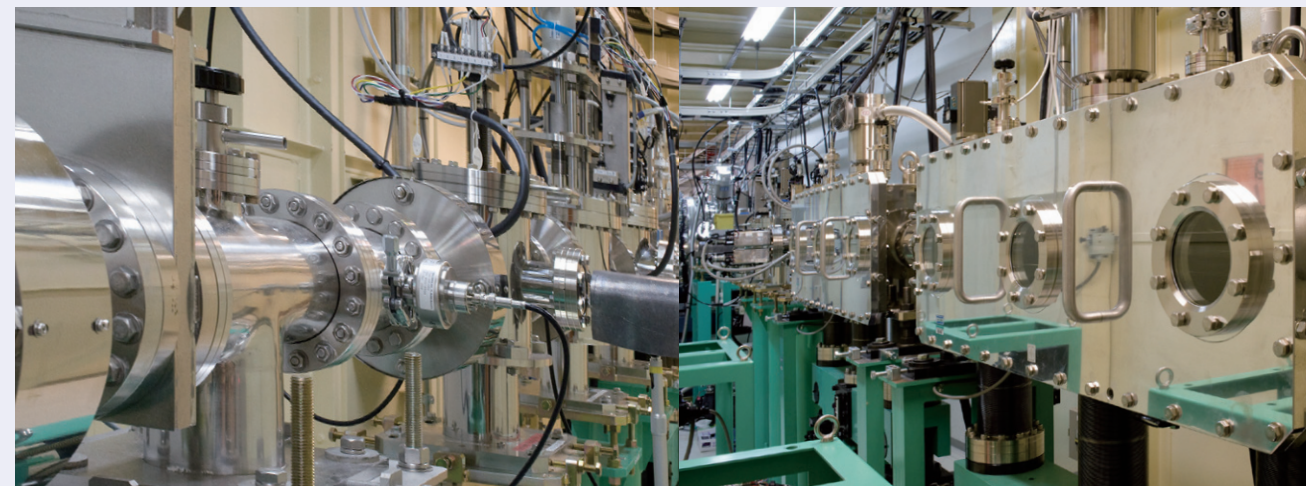
BL46XU (産業利用Ⅲ)

本ビームラインはアンジュレータ光源を用いたビームラインで、主にX線回折測定、硬X線光電子分光測定に利用されています。

（本ビームラインを用いた成果）
4, 6, 32, 36ページ



硬X線光電子分光装置



SPring-8における測定代行

測定代行は、JASRIの産業利用推進室のスタッフが、ユーザーに代わってSPring-8を利用した測定を行うものです。ユーザーの方のSPring-8への来所および測定現場への立ち会いは任意としており、試料をSPring-8へ送付することにより測定代行の実施が可能です。

当制度は組織内で専門スタッフを確保することが困難な企業、あるいは研究組織等への利便性拡大や、即時利用ニーズへの対応を図るべく実施するものです。

なお、本測定代行は『成果専有時期指定課題』の一形態として取り扱い、利用料金は、ビーム使用料として18万円／2時間、消耗品実費負担相当額として定額分2,680円／2時間及び従量分（測定代行中に実際に使用した消耗品等の金額）の合計額となります。

この冊子をご覧になってSPring-8の産業利用についてもっと知りたいとお考えの方は、一般的な興味であれば、まずSPring-8のホームページ (<http://www.spring8.or.jp>) をご覧いただければ、産業利用の多くの実例が出ています。ぜひ使ってみたい、あるいは望んでいる測定が可能かどうかを相談したいとお考えの方は、産業利用推進室（電話：0791-58-0924、e-mail：support@spring8.or.jp）のコーディネーターまでお問い合わせください。コーディネーターは、放射光に縁の無かった方がこの施設を使うことができるようお手伝い致します。産業界の一層の積極的な利用をお待ちしています。

発行：公益財団法人 高輝度光科学研究センター

写真・画像提供：トヨタ自動車（株）／ダイハツ工業（株）／住友ゴム工業（株）／クラシエホームプロダクツ（株）／江崎グリコ（株）／ミヨシ油脂（株）／三菱電機（株）／住友ベークライト（株）／大関化学工業（株）／旭化成（株）／旭化成建材（株）／（株）富士通研究所／住友電気工業（株）／（株）ジーエス・ユアサコーポレーション／（株）東芝／東京化成工業（株）／日鉄ステンレス（株）／日本製鉄（株）

©本誌掲載の写真・画像・図版・記事の無断転載を禁じます。 2020.2